No.325　令和５年（2023）1月15日　京都市北区役所地域力推進室　〒603-8511　北区紫野東御所田町33-1　☎(075)432-1199　京都市印刷物第041326号

市民しんぶん 北区版
いきいき北区
北区ホームページ
https://www.city.kyoto.lg.jp/kita/
1
2023／15

Follow Me
kyotoshi_kitaku
北区の魅力をご紹介！
インスタグラムはこちらから→

文化のココロ

北区を拠点に日本が誇る様々な伝統文化や芸術の伝承・創造に活躍される方をご紹介するシリーズ企画「文化のココロ」。新春の今回は、北区にお住まいの華道家元池坊・次期家元であり池坊専好さんに美しいいけばなとともに寄稿いただきました。

池坊専好 作「 白兎 」
花型：立花正風体
花材：水仙、しゃが、きんせんか

令和五年 迎春

華道家元池坊 次期家元
北区未来につながる
区民会議 顧問
池坊 専好 さん

あけましておめでとうございます。

水仙は「陰の花水仙に限る」と、いけばなの伝書に記されています。「陰」とは、旧暦十一月にあたり、この頃から冬の期間中見られる数少ない花のひとつで、「冬の最上の花」ともいわれています。寒さ厳しい中、馥郁（ふくいく）とした香りを放ち、凛としている姿は奥ゆかしく、また健気でもあり心洗われる思いがします。今回は、水仙のみで調和や平和を表す立花としました。

ここ数年、コロナ禍、そしてウクライナ侵攻と、安心できる状況ではありませんでしたが、それでも北区は豊かな自然と歴史・文化を基として、人と人とがつながりを持つことで、支え合い、助け合い、安心安全なまちを創り上げてきました。そして、その根底にあるのは互いの命や個性を尊重し、それぞれがしなやかにのびやかに輝こうと努めていく地道な取組ではないでしょうか。

今年三月には、文化庁が京都に移転します。従来の文化財保護だけでなく、それをどのように活用していくのか、また暮らしの文化にも注目が集まっています。地蔵盆や地域の祭りなど、私たちには誇るべき行事、そして日々の営みがあります。それこそが「文化」であり、北区のアイデンティティともいえるでしょう。それは私たちが引き継ぎ、次世代へ渡していく大きな財産です。私たちひとりひとりがかけがえのない文化の継承者であり伝承者であると思います。

干支の「卯（兎）」には、子孫繁栄や飛躍という意味があるようです。北区が様々な世代のどのような方々にとっても住みやすく、ここで人生を過ごし、時を重ねていく幸せを実感できるまちでありますよう、文化が少しでも役に立ちますことを願っています。

新春のご挨拶

あけましておめでとうございます。

今年の干支である「卯」には、安全・温和、そしてうさぎのように跳ね上がるという意味があり、「卯年」は、希望にあふれ、物事が好転する年といわれています。

コロナウイルス感染症がいまだ収束しない中にあっても、区民の皆さまとともに北区に息づく〝つながり〟の力で持続可能なまちづくりを進めてまいりますので、変わらぬご支援・ご協力をお願いいたします。

北区長
川妻 聖枝